

# 八坂地区小中一貫校に関する地区説明会 次第

日時 令和3年12月23日

午後5時30分～7時

会場 八坂公民館 交流ホール

1 開 会

2 あいさつ

3 資料説明

4 質疑応答

5 閉 会

# 八坂地区の小中一貫校移行に向けて

八坂小学校と八坂中学校は、同一地区にあり、学校運営に関して相互に密接な連携を図っており、既に、学校運営協議会及びPTAは一つの組織となっています。市教育委員会では、一貫した教育体制の充実を目指し、本年9月に策定した「大町市学校再編基本計画（以下「再編基本計画」）」に基づいて、両校を施設分離型の小中一貫校へ移行する準備を進めています。

## 1 再編基本計画に位置付け

八坂地区における小中一貫校については、これまでも八坂学校運営協議会の中で、検討が進められてきました。市教育委員会が策定した再編基本計画の中で、学校再編の基本方針の一つとして、一貫した教育の充実と小規模学校の特色ある学校づくりにより、教育効果をさらに高めて、地域に根差した魅力ある学校としていくため、八坂小学校と八坂中学校の施設分離型の小中一貫校移行を具体的に位置付けました。

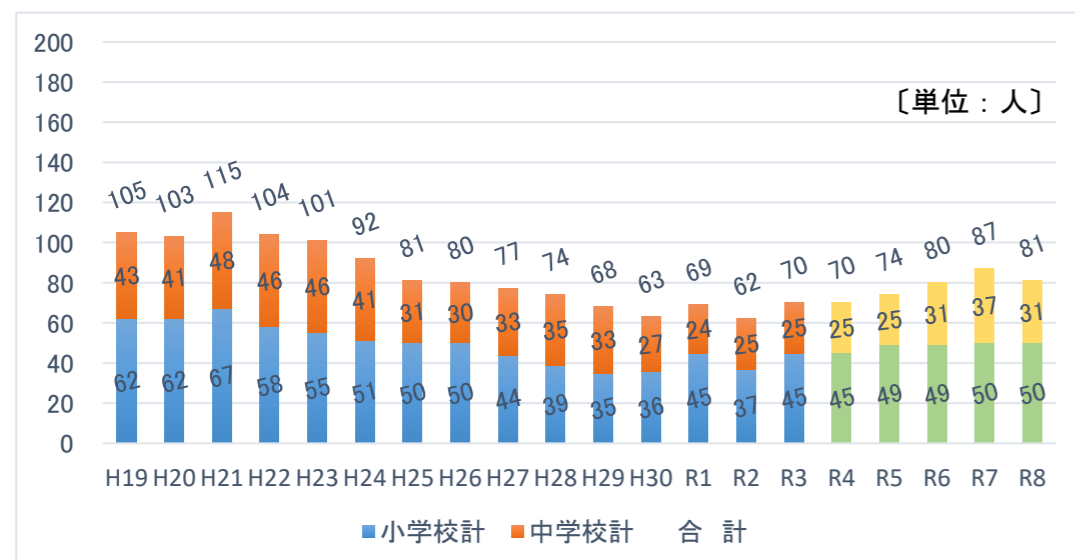
### ◆ 小中一貫校 ◆

小中一貫校については、学校教育法が平成28年に一部改正され、「義務教育学校」として制度化されました。義務教育学校は、小学校教育課程6年間と中学校教育課程3年間を合わせた義務教育9年間で学校教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する学校であります。9年間一貫した教育課程を編成することで、児童・生徒の個性に応じた丁寧で継続的なかわりが可能となります。

市内では、美麻地区の「美麻小中学校」が平成29年4月に義務教育学校として開校しています。

### ◆ 児童・生徒数推移 ◆

八坂地区の児童・生徒数は、市町村合併後の平成21年度の115人をピークに減少が続いています。令和4年度以降の推計値では、現在の山村留学生数（小学生10人、中学生8人）の維持を想定して、当面、現状を若干上回る児童・生徒数で推移することが見込まれます。



## 2 具体的な準備に向けて

市教育委員会では、再編基本計画に基づき市内の学校再編を具体的に進めるため、「大町市学校再編準備委員会設置要綱」を制定し、再編対象学校単位で準備委員会を設置しています。現在、第一中学校と仁科台中学校では「学校再編準備委員会（中学校）」を設置し、八坂小学校と八坂中学校では「八坂小・中学校準備委員会」を設置しています。

### ◆ 八坂小・中学校準備委員会 ◆

11月25日（木）に、八坂地区のPTAや地域の方、両校教職員の代表者14名で構成する同準備委員会を発足しました。



所属	役職
八坂地域づくり協議会	会長
八坂学校運営協議会	会長、副会長
	委員（3）
八坂小学校	校長、教頭、教務主任、研究主任
八坂中学校	校長、教頭、教務主任、研究主任

## 3 現在までの検討状況等

八坂小・中学校準備委員会で検討し、確認した内容は次のとおりです。

- (1) 移行時期 令和5年度（令和5年4月）移行を目途とします。
  - (2) 学校の名称 八坂地区の小中一貫校にふさわしい学校名を広く募集します。
- ※ 今後、教育課程や校章・校歌、制服など小中一貫校移行に向けて必要な調整事項については、八坂小・中学校準備委員会で検討し、教育委員会で正式決定します。  
決まった内容等については、市の広報紙及びホームページ、説明会等でお知らせします。

### ◆ 学校名募集概要 ◆

- 応募期間：令和4年1月1日（土）～31日（月）
- 応募資格：市民または市出身者や卒業生等ゆかりのある市外在住の方
- 応募内容：八坂地区小中一貫校の学校名案と、その理由など
- 応募方法：応募用紙等に、氏名・住所・年齢・連絡先を明記のうえ、以下の方法により応募  
⇒ 学校教育課又は各公民館窓口、郵送、FAX、メール、専用応募フォーム

#### 【学校再編に係る参考資料】

- ◇ 市ホームページ (<https://www.city.omachi.nagano.jp>)
  - ・学校再編の取り組みについて
  - ・大町市学校再編準備委員会
  - ・市立学校通学区の再編審議等の経過について
  - ・大町市少子化社会における義務教育のあり方検討委員会の報告書について